

第5回那須塩原市水道事業審議会 議事録

日 時 平成 28 年 6 月 1 日 (水) 午後 1 時 30 分～

場 所 本庁舎 303 会議室

出席者 委 員

太田委員、鈴木委員、土屋委員、大野委員、渋井委員、松沼委員、林委員、  
柳場委員、目黒委員

事務局

邊見上下水道部長、釣巻課長、関谷課長補佐、宇賀神総務係長、佐藤営業係  
長、斉藤建設係長、高野施設管理係長、角田主査

コンサルタント (株式会社 N J S)

関栄造、杉本雄一

事務局 (水道課長)	<p><b>【1. 開会】</b></p> <p>それでは、みなさんこんにちは。委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。また、平成 27 年 8 月から、1 年近くにわたり、慎重なご審議を頂いているところでございます。本日答申を迎えることができることを改めてお礼申し上げたいと思います。</p> <p>それでは定刻になりましたので、第 5 回那須塩原市水道事業審議会を開会いたします。本日の進行を務めます、水道課長の釣巻と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>会議に先立ちまして、いくつか確認事項がございます。事務局から説明お願いいたします。</p>
事務局 (総務係長)	<p>本日はお忙しい中、お集まり頂きまして誠にありがとうございます。まず始めに先日送付しました資料の確認をお願いします。</p> <p>那須塩原市水道事業ビジョンの原案、那須塩原市水道事業ビジョン素案に対するパブリックコメントの結果について、以上が先日お送りさせて頂いた資料でございます。</p> <p>本日お配りした資料として、答申書になります。こちらの方、もし、資料が足りない方いらっしゃいましたら仰って下さい。</p>
事務局 (水道課長)	<p>続きまして会議の成立について報告致します。本日の出席者は、現在 8 名でございます。委員お一人が遅れて、出席して頂けるという連絡を受けております。7 名以上の出席者がございますので、審議会条例第 6 条 2 項の要件を満たしており、会議が成立していることを報告いたします。</p> <p>それでは、会議次第に基づきまして進行させて頂きます。初めに太田会長からご挨拶をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p><b>【2. あいさつ】</b></p>

会長

どうもみなさん、こんにちは。今ご案内頂きましたように、本日よりいよいよ深くご審議頂いてきたその成果を答申という形でまとめさせていただいて、そのあと市長様に答申書を提出します。最後の機会ということになるのですが、そういう中で一言ご挨拶を申し上げたいと思います。このような日を迎えるにあたって、4月に大きな被害をもたらしました熊本地震の事に少し触れさせて頂きたいと思います。犠牲となった被災地の皆様に対して、哀悼の意と、それからお悔やみを申し上げたいと思いますが、この熊本地震が我々に残した教訓といったものをしっかりと活かしていかなければならないというふうに思っています。もともと私は熊本市に、丁度今年の1月に用事があって入ったのですね。

その時にたまたま寒波が襲来しておりまして、熊本県付近の広範囲において、その寒波によって水道管の凍結・破裂や断水といったものが相次いでおりました。そういう点で、九州地域の中で、寒波により凍結・破裂するといった事例があまりなかったという事で、初めて脆弱性をどうするかということが議論された時期でございました。

それから間もなくですね、その地震といったものが起きたわけでございます。言うまでもなく、関東の時もそうでしたし今回の大規模地震についてもそうでしたが、やはり何もないと、ライフラインとして水道やガス、これが日ごろは水が、蛇口を捻れば水が出てくる、当たり前と化しておりますけれども、いざそういうような事態に至ると、その有り難さ、重要性といったものをひしひしと認識をされたと、そういうことでございます。

水道の持っている重要な役割と合わせて、やはりその一刻も早く復旧させていくということについては、様々な課題を残したと思っております、特に応援給水等含めた、水道の場合には全国的な応援をいち早く確立して、そういったことに対する救済を行うというような体制が全国的に確立しておりますけど。実際に行きますと、水道管あるいは止水弁等含めて、仕様が違って、従来、自前でやっていたところが、必ずしも器具が使えないといったようなことがあったり、あるいは埋設している水道管の位置がわからなかったりする。実際、復旧作業というものが順調に行かなかったことも伝えられております。そういう点でも改めて、やはりこうした教訓をこの那須塩原市の水道事業の中にも生かしていくと、合わせてそういう中で、今後に伝えられる様な水道事業というのを、我々の努力の中でしっかりと見据えることが出来る様にしていきたいと思っておりますし、そのことに今回の答申が少しでも寄与出来れば大変幸いだなと思っておりますので、引き続き市長様に答申をするまで、最後の最後までご協力頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局  
(水道課長)

ありがとうございました。それでは議事に入らせて頂くところですが、この4月に人事異動によりまして、職員の異動がありましたので、この場をお

	借りまして簡単に自己紹介させていただきます。
事務局 (上下水道部長)	初めまして、上下水道部長の邊見と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。委員の皆様には大変お忙しい中、第5回審議会にご出席いただき、この場を持ってお礼申し上げます。 4月の人事異動で大きく職員が変わっております。この場で改めておわび申し上げます。本日でございますけれども、審議会の議事終了後に、市長様に答申ということでございます。お世話になりますけれども、どうぞよろしくお願ひいたします。以上です。
事務局 (水道課長)	改めまして4月から水道課長に着任しました。釣巻と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。
事務局 (水道課長補佐)	同じく4月から水道課長補佐として着任してきました関谷と申します。どうぞよろしくお願ひします。委員のみなさんには1年近く、多岐にわたり、長い間どうもお世話になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。お世話になります。
事務局 (水道課長)	<b>【3. 議事】</b> それでは議事に入らせていただきます。ここからの議事の進行につきましては太田会長にお願いしたいと思ひます。太田会長、どうぞよろしくお願ひいたします。
会長	それではお手持ちの次第に沿って議事に進ませて頂きたいと思ひます。本日の議事内容は2つございます。まず、最初の議事でございますが、那須塩原市水道事業ビジョン（素案）のパブリックコメントの結果報告ということなんです。事務局の方からご説明頂きたいと思ひます。
事務局 (水道課長)	その前に、今回の会議に傍聴人の申し込みが1名ございます。よろしくお願ひいたします。
会長	今、ご案内がございまして、本日の最終の審議会に対して、傍聴希望された方がいらっしゃるということでございます。 これにつきましては、申し合わせによりまして、その都度お諮りをして入場の許可を頂くことになっておりますが、本日傍聴者に対して、ご入場頂くことについてご異議がある方いらっしゃいますか。よろしいですか。それでは入場を許可したいと思ひます。
事務局	あの、一つよろしいでしょうか。

会長	どうぞ。
事務局	写真の撮影について、申し出があるのですが、委員の皆さまに伺って頂ければと思います。
会長	<p>水道関係のプレスの方なのですが、本日の審議会の様子を写真に撮りたいというような申し出がございましたので、写真撮影についてはよろしゅうございますか。はい、それでは、ご了解頂けました。では、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは早速、議事の第1番目、那須塩原市水道事業ビジョン（素案）のパブリックコメントの結果報告につきまして、事務局の方からご説明頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>水道課総務係の角田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今回、私の方で、皆様に配付しておりました水道事業の素案の方につきまして、パブリックコメントの方を、今回答申としてまとめまして、配布させて頂きました。</p> <p>お手元にある水道事業ビジョン（素案）に対するパブリックコメント（意見募集結果について）という資料をご覧ください。募集期間につきましては、平成28年3月29日から平成28年4月25日、約4週間、実施の方をさせて頂いております。パブリックコメントの実施の周知につきましては、広報なすしおばら3月20日号とインターネットのホームページに掲示をさせて頂いて、周知させて頂いたところでございます。</p> <p>募集の結果につきましては、意見の提出者が1名でした。その方から2件の事に対して、今回意見を頂いております。その概要と市の考えにつきまして、2番の方にまとめさせて頂いております。まず、一番目の方につきまして、ビジョンの作成に関して地域活性化、あるいは文化事業に関する視点からの事業構想について盛り込んで欲しいという意見を頂きました。これにつきまして、市の考え方として、右側に書かせて頂きました。今回策定を行っている水道事業ビジョンにつきましては、厚生労働省にて作成をしました新水道ビジョンの考え方を元にさせて頂いております。水道につきましては、市民生活、そして経済活動に欠かすことのできないライフラインであるということで、安全で良質な水道水を、安定的に供給していく必要があります。その際、水道の需要については給水量の減少が進む一方で、老朽化した施設の更新に伴い、健全な経営に基づいて安心・安全な水の供給をすることで、市の地域の活性化や文化事業を、底側から支えていくようになるものと認識させて頂いております。そのため、今回ビジョンは、迫りくる現実的な課題・問</p>

	<p>題に向けた実現方策を検討して、いかに安定した水の供給が出来るかを最優先に考えて策定の方をさせて頂いたところでございます。</p> <p>二番目の、10年後を見据えたプランがあれば、中間年・最終年に向けたビジョン等を数値目標で明確化をして欲しいという意見の方を頂戴しました。数値目標につきましては、ビジョンの中で目標年度というのを重要業績評価指数という事で、掲示させて頂いております。しかしながら、その目標に対する統括するための進捗管理も当然重要なものとして認識はさせて頂いております。そのため、今回ビジョンにおいて設定した数値目標は達成出来るように、進捗を評価し、適宜見直しをはかりながら、実現に向けて各種の事業を進めていくようにしていきたいと考えております。以上2点が意見として提示頂いたものと、それに基づく市として考え方をまとめさせて頂いたものになります。よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>今回のパブリックコメントについては2件のコメントが寄せられたという事でございまして、それぞれに対して、その様な形で返答させて頂いたという事でございます。このやりとりにつきまして、何か御意見ないしご質問あればどうぞ。これはもう広報でその内容を公開されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>まだでございます。今回、皆様にご審議頂いた結果を踏まえて、広報なり、那須塩原市のホームページに結果として市の考え方はこうです、という事を出させて頂く予定です。</p>
会長	<p>委員の皆さんから、もう少しこういうふうになるように変更した方がいいのではないかとということがあれば、それも含めてという事で宜しいですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>そういう事でございますので、もし何かお気づきの点がございましたら、どうぞ。</p> <p>ただもう時間が、大変恐縮ですけれども、次の審議会は開催出来ませんので、申し訳ございませんが、今日この場で、ご意見を頂戴できればと思っております。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。はい、それではこの内容を広報等で、コメントに対する応答をさせて頂くということとさせて頂きます。ありがとうございます。</p> <p>それでは続きまして、本日市長に対して提出する答申書を、お手元に冊子でご用意頂いておりますので、事務局の方からお話し頂きたいと思っております。</p>
事務局 (水道課長補佐)	<p>ご説明させて頂きます。お手元の資料「那須塩原市水道事業計画（那須塩原市水道事業ビジョン）の策定について（答申）」をご覧ください。</p>

<p>会長</p>	<p>どうぞ、お座りになって。</p>
<p>事務局 (水道課長補佐)</p>	<p>那須塩原市水道事業ビジョン案につきまして、昨年8月4日、市長の方から当水道事業審議会様の方に、ビジョンの作成ということで諮問させて頂いたわけでございます。そして、各委員の皆様方から審議会で意見を頂戴した結果、本日このような形でビジョンをまとめることができました。ありがとうございます。</p> <p>そして、ビジョンの8ページの考え方についてですが、水道につきましては市民生活、そして経済活動の方に欠かすことの出来ないライフラインでございますので、それについては安全で良質な水道水をいつでもどこでも安定的に絶やすことなく供給していく必要があるものでございます。このような中、那須塩原水道事業をとりまく環境についても大きく変化しております、今後本格的な人口減少社会が来ることによる給水収益の減少がある、ということですね。一方で昭和の初めに鳥野目浄水場、当時の黒磯町の浄水場で水道事業を創設して以来これまで広い範囲において給水してきたこの水道施設が、老朽化してきている、ということでもあります。よって、中長期の視点に立って効率的な施設を保持する他、投資、費用の増加が今後とも見込まれるという事でございます。また、その他、人材の育成、技術の継承という面では専門知識の更なる習得と、業務提携をより一層強くするという事が求められているところでございます。</p> <p>その他、熊本の地震、今年の台風18号の豪雨、東日本大震災等々、災害が多い。それに伴って停電等も水道水に影響するものですから、災害に強い水道事業の構築等、水道事業の抱える課題は年々厳しさを増していくものと見込まれるところでございます。これらのことを踏まえまして、安全、強靱、持続という3つの柱に対して、対応策と目指すべき方向性を示し、「市民に信頼される水道」をスローガンに、将来を見据えた事業計画を立案しました。また、より効率的な水道事業の運営を目指して那須塩原市水道ビジョン案を策定しました。なお、このビジョンに掲げる理想像に対しましては、理想像に対する実現方策、それを展開するにあたりましては、今後の水道事業を取りまく情報の変化と技術革新に柔軟に対応していく必要がありますので、将来に渡って健全な経営を実施して安全で安心な水道水を供給していくためには中長期的な財政見通しの元で適切な料金体系への改定も視野に入れながら着実に方策を実行して、経営の安定化を図るということに特段の配慮を願うという要望を付け足して答申書、という事でお願いできればと思います。以上になります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。以上でございます。最後に付帯事項と申しますようかね、経営の安定化あるいはその運営基盤の強化ということで、その基</p>

	<p>本になる料金体系の見直しという事も含めて、このビジョンの中で、あの明確にしていくということでございます。いかがでしょうか。この間1年間近くに渡りまして、その部分議論いただいて、最終的にはこのような形でまとまったという事でございますので、ご確認頂ければと思います。もし、ご意見などあるいはご質問等あればどうぞお申し出ください。</p> <p>答申書は事前に委員各員にはお送りしているのですか。</p>
事務局	<p>答申書は資料とともに会議の約一週間前にはお送りさせて頂いているところでございます。</p>
会長	<p>事前にご覧いただいたのではないかとと思うのですが、いかがでございましょう。最後の財政基盤に確実に関わる言葉は、どこに盛り込んであるのですか。あるいは、体現が別途その旨をつけている形になるのですか。</p>
事務局 (上下水道課長)	<p>先ほどお配りした那須塩原市水道事業ビジョン（素案）の45ページ、48ページに、財政見通しに該当箇所が書かれています。</p>
会長	<p>具体的な表現としては、45ページの財政見通しの中に盛り込まれているということで、具体的な文言は第2段落のところにある概ね31年度頃に料金改定する必要性が生じますという部分でございます。こうした事を念頭に置いて、今後、そうした財政確立の検討が必要になってくるというふうに理解しております。そういうことでございます、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>どうぞ、宜しいですか。はい、それでは、お手元の案となっておりますけれども、この内容で各自ご異議がないという事でよろしゅうございますか。はい、ではこの内容でビジョンとして市長に提出をさせて頂きたいと思っております。</p> <p>つきましては、このお手元表紙の案の字を取って頂ければと思います。</p> <p>それでは、ありがとうございました。まあ今日はどちらかと言うと実質審議というより、ご確認を頂いて、市長に答申をさせて頂くという、幾分セレモニー中心の審議会となるかと思うのですが、そのような形でご確認頂いたという形を取らせて頂きます。ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、本日も予定していた議事は終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局 (水道課長)	<p><b>【4. 答申の提出】</b></p> <p>ありがとうございました。それでは次第に基づきまして次第4番、答申書の提出に入ります。</p>
会長	<p>平成28年6月1日那須塩原市長 君島寛様、那須塩原市水道事業審議会 会</p>

	<p>長 太田正。</p> <p>那須塩原市水道事業計画（那須塩原市水道事業ビジョン）の策定について（答申）</p> <p>平成27年8月4日付け那塩水第152号で諮問のありました那須塩原市水道事業計画（那須塩原市水道事業ビジョン）の策定について、下記に基づく考えのもとに各委員による真摯な審議の結果を受け、別冊のとおり策定しましたので答申させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
市長	<p>お世話になりました。ありがとうございます。</p>
事務局 (水道課長)	<p>大変失礼いたしました。ここで、市長と委員の皆様で写真撮影を行いたいと思います。市長。委員の皆様、こちらへどうぞ。</p>
事務局 (水道課長)	<p>市長より挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>那須塩原市長の君島でございます。本日は、委員の皆様にはご多忙のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。水道事業審議会より答申を頂きました事に対し、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>水道事業審議会につきましては、平成27年8月に那須塩原市水道事業ビジョンの策定について諮問をさせていただきました。14名の委員の皆様方には、1年近くにわたり、現地調査も含めた5回にわたる会議を開催頂き積極的かつ慎重なご審議をいただきまして、本日午後には答申を受け取ることが出来ました。太田会長をはじめ委員の皆様のご尽力に対し、厚く御礼を申し上げたいと思います。ご承知の通り本市は昨年合併10周年を迎えたところでございます。10年前3つの上水道、7つの簡易水道でスタートを致しました水道事業でございますけれども、平成21年に一つの事業に統合を致しました。さらに平成22年に料金を一本化したところでございます。</p> <p>その水道事業を取り巻く環境は、大きく変化を致しました。人口減少社会の到来により、給水収益が減少をする一方、水道施設の老朽化に伴い更新需要が高まるという困難な課題に現在直面をしているところでございます。この中でも、安全、強靱、そして持続の観点から水道事業の抱える課題に対し、市民の皆様へ安心・安全な水を安定して供給することが水道事業の責務だと考えているところでございます。</p> <p>今回頂きました答申を踏まえ、今後も水道を取り巻く情勢の変化にも充分に対応し、市民の皆様にご理解を頂けますよう引き続き健全で安定した水道事業の経営に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>最後になりますが委員の皆様には長い期間に渡るご協力に対しまして心から感謝を申し上げまして、簡単ではございますけれどもお礼の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。お世話になりました。</p>

<p>事務局 (水道課長)</p>	<p>ありがとうございました。市長はこのあと公務がございますので退席させて頂きます。</p> <p>続きまして次第 6 番。上下水道部長の邊見より皆様にご挨拶を申し上げます。部長、宜しくお願いします。</p>
<p>事務局 (上下水道部長)</p>	<p><b>【5. あいさつ】</b></p> <p>本日は答申頂きましてありがとうございました。委員のみなさんにおかれましては大変お忙しい中昨年 8 月から 1 年の間、慎重にご審議を頂きまして先ほど市長に答申をしたところでございます。先ほど市長の挨拶にもございましたように、本市水道事業ですけれども、大きく変わっております。これは社会情勢の変化という言葉にとられるかと思っています。これに対して様々な課題を抱えているというところでございます。</p> <p>今回頂きました答申書を基に、それらを踏まえまして、対応していくことによって、課題解決に繋がるかと思っております。また健全な経営にも繋げて参りたいと思っております。最後になりますけれども、これまでご尽力を頂きました太田会長はじめ委員の皆様のご活躍を祈念致しましてご挨拶とさせて頂きます。大変ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (水道課長)</p>	<p>ありがとうございました。それでは最後に一年近くに渡りお世話になりました委員の皆様からお一人ずつご意見を入れながら、ご意見感想を入れながら、ご挨拶をお願いしたいと思います。太田会長からお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>約 1 年間お世話になりました。こういう形で、一つの形になってまとまったわけですが、この中でやはり那須塩原市水道事業の全国的な中に占める特色、あるいは、そうしたことを踏まえた上で、このビジョンが全国に対して非常に新しい、その観点なり或いは方向性を指し示すことができる、そうした先見性を持ったもので、ということで評価できるものになったかと思います。</p> <p>一つは、市長さんの方からご案内がありましたが、那須塩原市が広域合併をされて、市内に上水道それから簡易水道、様々な事業が散在をしている中で、経営統合していく。そして最終的には料金統一という形で、進めてきたわけですが、その当初から、縁があって関わらせて頂いて、そういう点では、那須塩原市は一つなのですけど水道は中々ですね、そうして今申し上げた通り、地域の成り立ちがあったものですから一つになりきれない、一つ一つの状況が存在をしておりました。特にやはり、塩原地区、ああいった温泉地域での水道事業といったものの料金体系を含めた、ある種そうした特定のエリアにおいて、他とは違う形で事業をされてきたという特殊な経緯もございまして、それをどうやって合併の下で、同じ水道事業として市民共有</p>

のものにしていくことが出来るのかどうか、ということはこの料金改定のことも含めて合併といったものが本当に那須塩原市民全体として、一つにまとまっていく上での大きなテーマだったと思います。

そういうことに対して、順次、これからも一定程度の期間をかけて、こうした形での積み上げを行ってきたと、いう事ですけども、今回この水道ビジョンはそうしたことの蓄積を元にして、方向性を定めたことになったかと思えます。中でも 39 ページの持続というところで、まとめている部分がございます。先ほどのご案内にもありますように、いわゆる人口減少社会に対して、どう対応していくのか、ということが一様に問われて、こうした状況の中で、老朽化を迎えて施設の更新が迫られていると。今までのように、人口が増えるケースで社会が発展するという状況の中で、水道事業を将来どうするかという比較的楽観的な立場から議論するってことが中々難しい状態になっている。その中でどうやってこの地域特性を持って、塩原、那須塩原市としていくつかの事業が点在をしてきたものを、一つにまとめながら、将来に繋げていくことが出来るかどうかと、そういう事が問われてきていると思えます。

そういう点では、必ずしも何か一緒になったのだから全てのそうした地域の水道事業の現状が、まったく一つになって差異がなくなるというわけでは勿論ありませんし、そうした地域の属性をうまく生かしながら、尚且つ市民共有の財産として受け継いでいけるような形で、料金についても、あるいは運営についても確認をしていくことが出来るならば、それが一番望ましい形ではあります。そうしたことに対する一つのですね、将来に渡ってどういうふうに那須塩原市の水道事業といったものを繋いでいくかということの、まあ見取り図みたいな、5-10 の図というところで描かれているかと思えますし、そうした形の中で今後、水道事業の再構築というものをどのような考え方で出来るのかという事の方角性を示されたのだと思えます。

どうすればいいのかという見取り図が出来た上で、このことを着実に実施していくと。そしてやはりそのいつ起きるかわからない、まあ大規模自然災害への対応かつ、水需要が非常にこう低調化していく中で、どうやって財源を確保しながら持続可能な水道事業として後世に伝えていくのかと、まあいう事がこれから、本当に求められてくる。ですからビジョンは作ったら終わりじゃなくて、作ったビジョンをどうやって着実に一つ一つ実行出来るのか、という事が今後問われることだと思います。委員各位におかれましても、そうした今後についても、しっかりと那須塩原市の水道事業を見守っていきながら、それを支える側に立って、いろいろな引き続きのご尽力を頂ければと思っております。どうも長いことありがとうございました。

大野  
副会長

那須塩原市は蛇口を捻ればおいしい水が安く飲めるっていう事で、私は本当にもう節水意識 0 だったんですけど、この 1 年間勉強しまして、節水を改

めて、意識を高めようと思います。またこの度の熊本地震におきまして益城町などはライフラインの中でも水道の復旧が2週間くらいかかったというニュースを見たのですが、那須塩原市でも水道課は特に市の心臓とも、心臓部と言っても過言ではないと思います。水は人間の命に関わるものですから、水道課に配属されましたら、プライドを持って頑張りたいと思います。ありがとうございました。

鈴木委員

日本水道協会の鈴木でございます。水道の専門家の立場でいろいろ技術的なアドバイスをさせて頂きました。私にとっても非常に参考になりました。中身は非常によく出来ているなど。で今日日本水道産業新聞の記者が来ておりますので、近いうちに全国版で那須塩原市がこういうプランが出来たよという事でオープンになるかと思えます。那須塩原市の方には、おそらく問い合わせが幾つか入ってくるだろうなど。暫く注目を集めるのかなと思っております。

で、やはりこれはスタートラインだと思います。先ほど会長からありましたけども、私は神奈川に住んでおりますので、残念ながら、那須塩原市に住んでいけば、進捗管理的な目で、色々ご意見を差し上げたいと思っておりますが、ちょっとそれは難しいというところがございます。ぜひ委員の皆様には、そういった意味で一年後どうなったのか、ああなったかとかそういったところで注目を集めて頂きたいなというふうに思っております。

それからこの審議会ですね、普通やられる審議会は学識経験者、それからかなり有名な方々を集めて、最終的にパブリックコメントをやっておしまいというところが殆どなのですが、この審議会は、市民の皆様方が参加しているという事で非常に特徴的なものなのかなと、市民の目線で作り上げてきたというところがありますので、そういった目で、今後更に水道に対していろいろ要望を出して頂ければいいのかなと感じております。どうも1年間近くありがとうございました。

土屋委員

先ほどお話ありました通り塩原温泉地域に住んでおまして、蛇口を捻ると水がでる、蛇口を捻ると今日一日が始まり歯を磨いて顔を洗う、要は一日の始まりが水道を捻るということです。32ページの強靱な水道とありますが、浄水場が断水しますと非常に大変な思いをします。今回の災害で飲み水は何とか確保出来たのですが、トイレの水は出来ませんでした。多くの高齢者は、地下に農業用水がある家に住んでおり、バケツの取っ手にロープをくくって汲み上げ、トイレに流したというような状況でした。今回の答申書に強靱・安全という言葉が入っておりますので、心強く感じました。

また、最近、電化製品も節水型というのが普及し、特にトイレの水や電気洗濯機が多く見受けられ、水を使うのがだんだん減っているのではないかという気がしまして。それらのことも念頭に置きながら水を使っていきたいと

<p>渋井委員</p>	<p>思います。</p> <p>大変お世話になりました。私は観光協会の代表で出ております。観光の面からもおいしい水が飲めるという事は一番役に立っていることだと思います。市内で工事をしているところを見ると、今日は何の工事かなー水道管かな、なんて気になってよく見るようになりました。これからも勉強していきたいと思いますので、大いに役立ちました。一年間ありがとうございます。</p>
<p>目黒委員</p>	<p>一年間いろいろありがとうございました。私は消費生活推進連絡会という、消費者の立場というところで、選ばれたのですが、先ほど言ったように捻ると出てきておいしくって安全だし、それが普通というふうに考えて生活してきたので、毎回お勉強させて頂いたり、専門家の先生から色々お聞きしたりすると、すごい苦勞があつて私たちが本当に豊かな暮らしをさせて貰っているのだなあという事をとて感じました。これは、理想だけで終わらせないで、これからの10年に向かって私も、消費者の立場で水道はどうなってきたか、10年後先までいろいろ、今回策定したので、それを見ていきながら過ごしていきたいなあというふうに思っています。</p> <p>それと、とつても昔からの資料がきちんとなっていたのでやはりそれは驚きましたし、今後災害が起きて役場があのようになってしまうって事もありますので、そういう記録をきちんと閉ざさない、ダメにならないように、きちんと後世に伝えていけるよう、安全に確保して頂ければなと思っています。長い間ありがとうございました。</p>
<p>柳場委員</p>	<p>私は輝きネット那須塩原から参りました。本当に一年間この水道事業に関しましては、本当に、明らかに自分が、命の源になっている水の事を勉強させて頂いたことで、とてもありがたいことです。で、もろもろ会長さんや皆様がいう事を聞いていく中で、本当に安全で強靱で持続って、この持続ってというのがとつても大切なことだと思います。是非職員の中が変わるにあたつても将来の事、子供たち子孫に対しても本当に大切な水の事なので宜しくお願ひしたいとともに1年間ありがとうございました。</p>
<p>林委員</p>	<p>一年間お世話になりました。市民の一人として参加させて頂いたのですが、初めてこの水道事業の審議の方に加わらせて頂いて、正直難しいお話で分からないことばかりだったのですが、視察に行かせて頂き、水道を捻って当たり前に平穩に生活してきた水が、たくさんの方が関わってこうやって安全に安心して飲んで生きられるのだなという感謝の気持ちを持ちました。</p> <p>また、人口減少が財政にまで関わってくるなんて感じたこともなかったので今後31年以降、値上げ、料金改定となつて値上げとなつた時に、ママ友だったりクラス仲間が那須塩原市なにやつてんだと値上げに対して文句いう</p>

<p>松沼委員</p>	<p>人がいたとしたら、ここで学んだことを、あの、上手に話せるようにずっと水道事業の応援をさせて頂きたいと思います。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>3月までは栃木県企業局水道課というところで北那須水道から、那須塩原市へ水道水を供給する作業を主体するセクションに所属している立場で意見を述べさせて頂きました。4月から人事異動になりまして、宇都宮、真岡に水道を供給している、それから後ほかに芳賀工業団地に工業用水道を供給しております、鬼怒水道事務所というところに異動になりましたけれども、残り最後の1回ということで引き続き任務させて頂きました。審議会を通しまして、那須塩原市の水道ビジョンの達成のためには、那須塩原市へ水道用水を供給しています私どもの、北那須水道の果たすべき責務を認識しております。</p> <p>私ども企業局もまた同じように、那須塩原市と同じように、水道の安全・持続・強靱などの目標を掲げました。10年間の企業局経営戦略というものを昨年度あげて頂きまして、今年度を初年度としてまさにスタートを切ったところでございます。今回のビジョンの中身におきまして、設備は管路の更新、それから管理体制・普及体制の強化とかそれから人材育成、技術の継承など、その課題とか都市計画におきまして、同じ水道事業者として共通するのが多くございます。那須塩原市と私どもの北那須水道、共通の課題につきまして互いに連携を通じながら、技術的に参考になる事項の情報交換や研修訓練を共同して取り組むというものであれば同じ水道事業者として水道事業ビジョンの確実な実施に向けて一緒になって取り組ませて頂ければと思っております。一年間ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (水道課長)</p>	<p>ありがとうございました。本当に大変お世話になりました。ありがとうございました。それでは、最後に事務局より連絡がありますので、事務局お願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆様1年間大変お世話になりました。本日自家用車でご来場頂いた方につきましては、別途旅費の請求書の方ということで印鑑の持参をお願いさせて頂いたところでございます。会議終了後、印鑑を頂戴に参りたいと思いますのでよろしく申し上げます。以上です。</p>
<p>事務局 (水道課長)</p>	<p><b>【6. 閉会】</b></p> <p>それでは以上を持ちまして第5回那須塩原市水道審議会を閉会いたします。委員の皆様については長期間に渡りまして、ご審議を頂きまして大変ありがとうございました。</p>